

# 立命館大学国際平和ミュージアムの2003年度事業記録

## I 管理・運営概要

### 1. 規程の制定と廃止

国際平和ミュージアム高度化推進委員会の答申は、2003年4月23日の常任理事会で承認され、その後全学討議を経て、確定され、高度化に取り組んだ。

2003年7月18日の国際平和センター評議会と7月23日日常任理事会において、「立命館大学国際平和センター規程」「立命館大学国際平和ミュージアム運営取扱規則」「立命館大学平和・人権研究セクター運営取扱規則」の廃止と、「立命館大学国際平和ミュージアム規程」の制定が決定された。

### 2. 組織

#### ●館長

安斎育郎

#### ●副館長 (2003年7月24日から)

岡田英樹

#### ●企画局長 (2003年7月23日まで)

岡田英樹

#### ●事務長 (教育文化事業課長)

友藤信明

#### ●職員

山辺昌彦

伏屋貴司 (2003年4月30日まで)

芳賀淳子 (2003年5月1日から)

#### ●契約職員

石井里佳子

川元京子

久保山淑子

長尾聖希

西田茜

渡辺久栄

### 3. 施設

地下一階

常設展示室 751.40㎡

準備作業室 175.79㎡

収蔵庫 92.56㎡

一階

多目的ホール 327.60㎡

事務室 90.95㎡

ラウンジ 387.85㎡

二階

館長室 41.05㎡

会議室 286.64㎡

### 4. 評議会

第1回 2003年11月26日

#### 評議員2003年度名簿

長田豊臣 総長

坂本和一 副総長

佐々木嬉代三 副総長

川村貞夫 副総長

甲賀光秀 専務理事

久岡康成 常務理事 (教学担当)

井上純一 常務理事 (学生担当)

若林洋夫 常務理事 (財務担当)

西脇終 常務理事 (中等教育担当)

佐上義和 研究部長

安斎育郎 館長

岡田英樹 副館長

小畑力人 教育研究事業部長

友藤信明 事務長

### 5. 運営委員会

第1回 2003年11月28日

第2回 2004年3月25日

#### 運営委員2003年度名簿

安斎育郎 館長

岡田英樹 副館長

赤沢史朗 法学部

宇野木洋	法学部
藤岡惇	経済学部
安藤哲生	経営学部
森田真樹	産業社会学部
姫岡とし子	国際関係学部
大塚陽子	政策科学部
山崎有恒	文学部
富田美香	文学部
吉村幸雄	理工学部
松岡正美	特任教授
井口和起	京都府立大学
吉田保	関西文理学院
佐々木浩二	調査企画課長
花上徳明	中等教育部副部長
志摩慶子	教学部次長
伊藤則男	学生部次長
武山精志	国際部次長
小畑力人	教育研究事業部長
友藤信明	事務長

6. 企画運営委員会  
第1回 2003年5月20日

企画運営委員2003年度名簿

赤沢史朗	法学部
宇野木洋	法学部
藤岡惇	経済学部
安藤哲生	経営学部
森田真樹	産業社会学部
姫岡とし子	国際関係学部
大塚陽子	政策科学部
山崎有恒	文学部
富田美香	文学部
吉村幸雄	理工学部
松岡正美	特任教授
井口和起	京都府立大学
吉田保	関西文理学院
佐々木浩二	調査企画課長

II 事業概要

1. 資料

①収集・整理・保管

博物館資料を、館藏品と寄託とのそれぞれについて、  
物資料・文書資料・図書資料に分け、常設展示テーマ

にそった分類番号を付し、出所先ごとに整理し、収納している。

②燻蒸

2003年度は、夏期休館中の9月1日～4日に、収蔵資料を包み込み方式で、エキボンガスを注入し、24時間の燻蒸をおこなった。

③資料目録の作成

資料目録第1集に収録以降、2002年度までに寄贈された物資料・文書資料および、寄託された物資料・文書資料・図書資料を収録して、資料目録第2集を編集し、冊子目録を印刷した。今回は、CD-ROM目録を付録につけた。また目録第2集も、ホームページ上で公開した。

2. 展示

①常設展の参観者

入館者数は次表の通りである。

年度	個人	団体	全体
2003	12915	23842	36757

②常設展の更新

常任理事会で承認された国際平和ミュージアム高度化推進委員会の答申を具体化する形で、常設展のリニューアルが進められた。展示設計・施行業者を乃村工芸社に決定し、共同作業を進め、2004年3月25日に展示基本設計が完了した。

③特別展・共催展の開催

特別展と共催展の開催状況は以下の通りである。

●特別展：井戸も掘る医者—ペシャワール会の医療活動・緑の大地計画

I. 展示会、国際平和ミュージアム会場

会期：2003年5月15日（木）～6月15日（日）

会場：国際平和ミュージアム 中野記念ホール

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

協力：ペシャワール会

参観者：6487人

II. 記念講演会

日：2003年5月21日（水）  
会場：立命館大学衣笠キャンパス 以学館1号ホール  
演題：医療協力の19年とアフガニスタンの現状  
講師：福元満治（ベシヤワール会広報担当理事）  
主催：立命館大学国際平和ミュージアム  
参加者：260人

社団法人日本写真家協会  
協賛：キヤノン株式会社  
キヤノン販売株式会社  
KLMオランダ航空  
TPG  
タイム・インク  
参観者：2423人

Ⅲ. 展示会、立命館大学びわこ・くさつキャンパス  
会期：2003年9月26日（金）～10月24日（金）  
会場：エポック立命21 エポックホール  
主催：立命館大学国際平和ミュージアム  
協力：ベシヤワール会  
参観者：462人

Ⅲ. 刊行物  
感想文集

Ⅳ. 刊行物  
図録  
感想文集

●特別展：知っていますか？日本に戦争があった時代  
を「影山光洋写真展」

●特別展：世界報道写真展 2003  
Ⅰ. 展示会 国際平和ミュージアム会場  
会期：2003年10月1日（水）～26日（日）  
会場：国際平和ミュージアム 中野記念ホール  
主催：朝日新聞社  
世界報道写真財団  
立命館大学国際平和ミュージアム  
後援：オランダ大使館  
社団法人日本写真協会  
社団法人日本写真家協会  
協賛：キヤノン株式会社  
キヤノン販売株式会社  
KLMオランダ航空  
TPG  
タイム・インク  
参観者：8228人

Ⅰ. 展示会  
会期：2003年10月30日（木）～11月30日（日）  
会場：国際平和ミュージアム 中野記念ホール  
主催：立命館大学国際平和ミュージアム  
協力：影山智洋写真事務所  
企画：富岡与志子  
参観者：4955人

Ⅱ. 展示会 立命館アジア太平洋大学会場  
会期：2003年10月29日（水）～11月14日（日）  
会場：立命館アジア太平洋大学 本部棟2階コンベン  
ションホール  
主催：朝日新聞社  
世界報道写真財団  
立命館大学国際平和ミュージアム  
立命館アジア太平洋大学  
後援：オランダ大使館  
社団法人日本写真協会

Ⅱ. 記念講演会  
日：2003年11月5日（水）  
会場：立命館大学衣笠キャンパス 創思館カンファレ  
ンスルーム  
演題：語り継ぐ戦中・戦後  
講師：早乙女勝元（作家、東京大空襲・戦災資料セン  
ター館長）  
演題：父・影山光洋について  
講師：影山智洋（影山光洋次男）  
参加者：56人

Ⅲ. 刊行物  
図録  
感想文集

●共催展：季語の風景  
Ⅰ. 展示会、国際平和ミュージアム会場  
会期：2003年5月15日（木）～6月17日（火）  
会場：国際平和ミュージアム 1階ラウンジ  
主催：読売新聞社  
共催：立命館大学国際平和ミュージアム  
参観者：6544人

Ⅱ. 記念講演会

日：2003年 5月15日 (木)  
会場：立命館大学衣笠キャンパス 存心館801号教室  
演題：新聞写真の創造の現場  
講師：河村道浩(読売新聞大阪本社 報道カメラマン)  
主催：立命館大学国際平和ミュージアム  
参加者：90人

### Ⅲ. 刊行物 感想文集

●共催展：「シャヒード、100の命」展—パレスチナ  
で生きて死ぬこと

#### I. 展示会

会期：2003年 8月15日 (金)～8月31日 (日)  
会場：国際平和ミュージアム 中野記念ホール  
主催：「シャヒード、100の命」展実行委員会  
共催：立命館大学国際平和ミュージアム  
立命館大学国際言語文化研究所  
協力：ハリール・サカーキーニー文化センター  
VJUビデオジャーナリストユニオン  
「シャヒード展」京都準備会  
助成：国際交流基金  
財団法人花王芸術・科学財団  
財団法人ポーラ美術振興財団  
立正佼成会一食平和基金  
参観者：830人

#### Ⅱ. レクチャー・シンポジウム

日：2003年 8月17日 (日)  
会場：国際平和ミュージアム 中野記念ホール  
演題：証言とその奥行き／モノと人間のはざまで言葉は  
出席者：サミール・サラーム  
鵜飼哲 (一橋大学)  
富山一郎 (大阪大学)  
井上明彦 (京都市立芸術大学)  
細見和之 (大阪府立大学)  
岡真理 (京都大学)  
崎山政毅 (立命館大学)  
井上明彦 (立命館大学)  
西成彦 (立命館大学)  
主催：立命館大学国際言語文化研究所  
参加者：124人

●共催展：戦争と平和と学園風物展  
会期：2004年 3月21日 (日)～27日 (土)

会場：国際平和ミュージアム 2階 208・209会議室  
主催：「戦争と平和と学園風物」展準備会  
共催：立命館大学国際平和ミュージアム  
参観者：81人

### 3. 教育・普及活動

#### ①学芸員実務実習

2003年度の学芸員課程の館務実習は、8月1～4日  
と6・7日の日程で、立命館大学5名、京都橘女子大  
学5名、京都外国語大学1名の合計9名を受け入れ、  
特別展展示プランの作成、資料整理、受付業務などを  
中心におこなった。

実習生名と作成した展示プランは以下のとおりである。

窪田智子 立命館大学文学部史学科日本史学専攻  
満蒙開拓団  
風間雄介 立命館大学文学部史学科西洋史学専攻  
「囚人」であったユダヤ人とその抵抗—アウシュビッ  
ツの処刑とその反抗—  
内藤順子 立命館大学文学部史学科西洋史学専攻  
博覧会にみる人種・ジェンダーの差別的展示—こらか  
らの「展示」を問う—  
又川和枝 立命館大学文学部史学科西洋史学専攻  
ウォーナー伝説—空襲と原爆と文化財—  
奥野奈緒美 立命館大学文学部史学科西洋史学専攻  
新しいかたちの記念碑 「記憶」から真の平和を考え  
る 「ホロコーストの記憶」—ドイツ連邦共和国  
山崎 薫 立命館大学文学部地理学科  
ユーゴスラヴィア その後の姿—あの紛争を乗り越え  
て—  
井上真洋 立命館大学文学部科目等履修生  
戦時下のニューヨーカーたち／写真展  
石田 梓 京都橘女子大学文学部日本語日本文学科文  
学コース  
3つのプロパガンダー本・冊子を通して  
三好絵里 京都橘女子大学文学部歴史学科世界史コース  
従軍慰安婦—性奴隷にされた女性たち—  
内田善子 京都橘女子大学文学部文化財学科修復・史  
跡整備コース  
平山郁夫の作品を通じて  
阪口美幸 京都橘女子大学文学部文化財学科修復・史  
跡整備コース  
「語り部」としての戦争遺跡  
涌井絵美 京都橘女子大学文学部文化財学科修復・史  
跡整備コース

松代大本営

久保田真司 京都外国語大学外国語学部ブラジル・ポルトガル語学科

映画から見るベトナム戦争

会場：以学館 1 号ホール

参加者：54人

パネル展示

「一ノ瀬泰造の残した写真」と「ベトナムの障害児教育の写真」展

会期：2003年10月3日（金）～26日（日）

会場：国際平和ミュージアム・ラウンジ

## ②研修受け入れ

2003年度も国際協力事業団の「博物館技術コース」の研修に協力した。

2003年10月30日に、「人権と博物館」というテーマのもとに9人研修生の見学研修を受け入れた。内容は、館長の講演と常設展・収蔵庫・作業室などの見学である。

## ③映画会の開催

### ●第1回映画会

「HIBAKUSHA ヒバクシャ」

主催：国際平和ミュージアム

企画：如月社

上映 日：2003年7月11日（金）1回

会場：国際平和ミュージアム・中野記念ホール

参加者：100人

日：2003年7月12日（土）3回

会場：以学館 1 号ホール

参加者：170人

対談 日：2003年7月11日（金）

対談者：鎌仲ひとみ監督と安齋育郎館長

会場：国際平和ミュージアム・中野記念ホール

参加者：103人

パネル展示

戦後初めての「総合原爆展」の記録パネル展

会期：2003年7月5日（土）～24日（木）

会場：国際平和ミュージアム・ラウンジ

協力：原爆掘り起こしの会

### ●第2回映画会

「地雷を踏んだらサヨウナラ」

主催：国際平和ミュージアム

企画：如月社

上映 日：2003年10月25日（土）3回

会場：以学館 1 号ホール

参加者：211人

講演 日：2003年10月25日（土）

講演者：井川一久 元朝日新聞編集委員

演題：ベトナム戦争から反テロ戦争へー戦争の実態とジャーナリズムー

## 4. 交流事業

### ①日本平和博物館会議

第10回平和博物館会議は、広島平和記念資料館が開催館となり、2003年11月6・7日に開催され、立命館大学国際平和ミュージアムも参加した。従来の交流会とともに、10周年記念シンポジウム「21世紀の平和創造にむけて平和博物館になにができる？」も開催された。

### ②「平和のための博物館市民ネットワーク」

第3回全国交流会が、2003年11月15・16日に立命館大学国際平和ミュージアムにおいて開催された。英語版のニューズレター“Muse”第9号と第10号を2003年9月と12月に、日本語版の「ミューズ」第10号と第11号を2003年8月、12月にそれぞれ発行した。

## 5. 刊行物

### ①紀要

『立命館平和研究—国際平和ミュージアム紀要—』第5号を2004年3月25日に刊行した。

内容は以下の通りである。

国際平和ミュージアムへの提言—地域社会と世界へ向けて—& 特別展「影山光洋写真展」学生参加に関する報告（富岡与志子）  
マックス・エルンストのコラージュ—戦後世界における再生と希望（浅川朋美）

アメリカの核戦略と北東アジアの安全保障（安齋育郎）  
シンポジウム記録—21世紀における共生の可能性を求めて—大学の挑戦

立命館大学国際平和ミュージアム2002年度事業記録（山辺昌彦）

### ②だより

『国際平和ミュージアムだより』を刊行し、事業報告、関係者の随想、推薦本・収蔵資料・入館状況の紹介などを掲載している。

2003年度の刊行状況は以下の通りである。

通巻号数	巻	号	刊行年月日
29	11	1	2003年 8月25日
30	11	2	2004年 1月25日
31	11	3	2004年 3月25日

主な記事は以下のようなものである。

●特別展報告

号	回	特別展名
29	41	井戸も掘る医者—ベシヤワール会の医療活動・緑の大地計画 国際平和ミュージアム会場
30	42	世界報道写真展 2003
30	43	井戸も掘る医者—ベシヤワール会の医療活動・緑の大地計画 びわこ・くさつキャンパス会場
31	44	知っていますか? 日本に戦争があった時代を 「影山光洋写真展」

●共催展報告

号	回	共催展名
29	1	季語の風景
30	2	「シャヒード、100の命」展 —パレスチナで生きて死ぬこと

●案内

号	題
29	平和友の会が「平和市民講座」開きます

31	目録第2集と紀要第5号が刊行されます
----	--------------------

●館長あいさつ「巻頭つれづれ」

号	回	題
29	25	2人の69歳
30	26	「過去と誠実に向き合う」再論
31	27	ビキニ事件から50年目に想う

●企画運営委員連載

号	回	題 (執筆者)
29	20	女性の人権と平和 (大塚陽子)

●連載 リニューアルに向けて

号	回	題 (執筆者)
30	8	2005年4月のリニューアル・オープンめざし、検討作業着々と進む (岡田英樹)
31	9	ミュージアムのリニューアル設計・施工を担当するにあたって (原田豊)

●ミュージアムおすすめの一冊 (執筆者は山辺昌彦)

号	回	書名
29	29	戦争遺跡保存全国ネットワーク編『戦争遺跡から学ぶ』

30	30	北河賢三著『戦争と知識人』
31	31	田中伸尚編『国立追悼施設を考える』

31	平和のための博物館市民ネットワーク第3回全国交流会の報告 (山辺昌彦)
----	--

●スポット ミュージアムの収蔵品  
(執筆者は山辺昌彦)

号	回	題
29	25	世界の子供の平和像・京都
30	26	名古屋汎太平洋平和博覧会案内
31	27	舞鶴海軍館の絵葉書—鶴田吾郎筆「メナド海軍落下傘部隊の奮戦」

●その他記事

号	題 (執筆者)
29	「世界の子供の平和像・京都」が完成・除幕するまで (秋山吉剛)
30	映画上映会を開催 (芳賀淳子)
30	夏期研修報告 (川元京子・長尾聖希)
30	国際平和ミュージアム入館者40万人突破 (安斎育郎)
31	影山光洋写真展参加学生の声 (浦野路与・三沢宏行)
31	戦争と詩人—荒井健氏寄贈図書について— (中川成美)
31	立命館大学公開講座・新世紀平和企画を開催 (芳賀淳子)

●これら以外に、「平和へのメッセージ」(常設展感想文)、入館状況、事業予告などを掲載している。

6. 資料の特別利用

2003年度の展示会などへの主な貸出状況は次の通りである。

●子どもたちと戦争

主催：姫路市平和資料館

会場：姫路市平和資料館

会期：4.5～7.13

貸出：資料114点、写真パネル22点

●憲法月間における人権啓発パネル展

主催：京都市中京区役所

会場：京都市中京区役所ロビー

会期：5.19～30

貸出：写真パネル3組

●平和パネル展

主催：大山崎町

会場：大山崎町役場

会期：8.1～20

貸出：写真パネル1組

●平和を考えるパネル展

主催：甲南町

会場：甲南町公民館

会期：8.4～25

貸出：写真パネル1組

●ふしみ平和まつり

主催：実行委員会

会場：伏見公園

会期：8.3

貸出：資料25点

●'03平和のための京都の戦争展

主催：実行委員会

会場：立命館大学国際平和ミュージアム  
会期：7.29～8.3  
貸出：資料96点

●企画展「模型の世界」

主催：城陽市歴史民俗資料館  
会場：城陽市歴史民俗資料館  
会期：7.19～8.31  
貸出：写真1点

●平和のための宮津・与謝戦争展

主催：実行委員会  
会場：野田川わーくばる  
会期：8.1  
貸出：資料36点

●写真パネル展

主催：京都市立宕陰中学校  
会場：京都市立宕陰中学校  
会期：8.7～14  
貸出：写真パネル1組

●特別展「糧秣支廠と被服支廠展—兵士たちの『食』と『衣』—」

主催：広島市郷土資料館  
会場：広島市郷土資料館  
会期：10.4～11.3  
貸出：資料22点

●写真パネル展

主催：草津母親大会  
会場：草津人権センター  
会期：11.22～27  
貸出：写真パネル2組

●第2回平和のための美術展・戦争展

主催：あいばの平和運動連絡会  
会場：安曇川町 藤樹の里  
会期：12.17～21  
貸出：資料7点

付録

立命館大学国際平和ミュージアム規程

(ミュージアムの設置)

第1条 本学園に立命館大学国際平和ミュージアム (Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University) (以下「ミュージアム」という) を設置する。

(目的)

第2条 ミュージアムは、戦争と平和に関する資料を収集・保管・展示するとともに、紛争解決および平和創造に向けた教育・研究を通じて、国際社会の平和増進に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 ミュージアムは、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 紛争解決および平和創造に向けた教育・研究のための資料収集・保管・展示
- (2) 紛争解決および平和創造に向けた教育・研究を促進するための事業
- (3) 博物館学芸員課程の実習・博物館員の研修・インターンシップの受け入れ
- (4) 国内外の関連博物館・研究施設などとの交流
- (5) その他ミュージアムの目的達成のため必要と認められる事業

(開館時間および休館日)

第4条 ミュージアムの開館時間および休館日は次の通りとする。

2 開館時間

開館時間は午前9時30分から午後4時30分までとする。但し、館長が特別な事情があると判断し、許可したときはこの限りではない。

3 休館日

- (1) 祝日の翌日および月曜日、但し、月曜日が祝日の場合は翌日の火曜日
- (2) 年末年始および夏期休暇中の大学が定める日
- (3) その他 上記休館日以外に臨時の休館日を置くことができる。

(組織)

第5条 ミュージアムの管理運営のため、次の者を置く。

- (1) 館長 1名
- (2) 副館長 1名
- (3) セクター長 各1名
- (4) 事務長 1名



(5) 事務職員 若干名

2 事務職員には学芸員有資格者を含むものとする。  
(館長)

第6条 館長は総長がこれを任命する。

2 館長はミュージアムの事業を統括し、ミュージアムを代表する。

3 館長の任期は3年とする。但し、再任は妨げない。  
(副館長)

第7条 副館長は副総長がこれを任命する。

2 副館長は館長を補佐し、ミュージアム事業の円滑な推進をはかる。

3 副館長の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

(セクター・セクター長)

第8条 ミュージアムの事業を行うため、次の3セクターを置く。

- (1) ミュージアム展示セクター
- (2) ミュージアムメディア・資料セクター
- (3) ミュージアム平和教育・研究セクター

2 各セクターに事業を統括するセクター長を置く。

3 セクター長は本学教員から館長が任命する。

4 セクター長の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

(ミュージアム評議会)

第9条 ミュージアムの基本方針を審議・決定するためミュージアム評議会(以下「評議会」という)を置く。

2 評議会は次の委員をもって構成する。

- (1) 総長
- (2) 副総長
- (3) 専務理事
- (4) 常務理事もしくは当該部長
- (5) 館長
- (6) 研究部長
- (7) 教育研究事業部長
- (8) 副館長
- (9) 事務長
- (10) その他議長が出席を必要と認めたもの。

3 評議会は総長が招集し、その議長となる。

4 評議会は委員の過半数により成立し、議決は出席者の過半数の賛成による。

(アドバイザーコミッティー)

第10条 評議会のもとに、国内外の有識者によるアドバイザーコミッティーを置き、ミュージアムの運営やあり方について必要なアドバイスを受けることとする。

る。

2 アドバイザーコミッティー委員は、評議会の議を経て総長が委嘱する。

(ミュージアム運営委員会)

第11条 ミュージアムの事業企画・実施、管理・運営に関する事項等を審議するため、ミュージアム運営委員会(以下「運営委員会」という)を置く。

2 運営委員会は以下の委員をもって構成する。

(1) 館長・副館長・セクター長

(2) 各学部教授会から選出された運営委員各1名

(3) 中等教育部副部長・教学部次長・学生部次長・国際部次長

(4) 教育研究事業部長・事務長

(5) 館長が必要と認めた専門委員若干名

3 運営委員会に委員長を置き、館長がこれにあたる。

4 委員長は運営委員会を招集し、その議長となる。

5 運営委員の任期は、第2項(2)、(5)号にあっては2年とし、再任を妨げない。その他の各号にあっては夫々の役職の在任期間とする。

(所管)

第12条 ミュージアムの日常の管理運営は、教育研究事業部長が所管する。

(事務局)

第13条 ミュージアムに関する事務局は、教育研究事業部教育文化事業課が担当し、教育文化事業課長が事務長を務める。

(細則)

第14条 この規程に定めるものの他、ミュージアムの管理運営に関する細則は別に定める。

(改廃)

第15条 本規程の改廃は、評議会の議を経て、常任理事会がこれを行う。

附 則

この規程は、2003年7月24日から施行する。

なお、立命館大学国際平和センター規程(1998年3月25日規程第370号)、立命館大学国際平和ミュージアム運営取扱規則(1998年3月4日規程第372号)、立命館大学平和・人権研究セクター運営取扱規則(1998年3月25日規程第371号)は、2003年7月24日付で廃止する。

(文責 山辺昌彦)